

に い が た ろうしきょう NEWS

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護ウーマン



スタッフみんなの
輪を上手につなぐ
役ができれば。

街に出かける・買い物できる。そんな
普通がすごいことだと
感じます。

1

くじらなみ一番の自慢はこの眺望。日本海がすぐ目の前にあるような迫力。冬の荒波を見ていると時間の経つのを忘れてしまいそう。



2

施設の一階にある本格的な6台のパワーリハビリ機器。機能訓練が行われている他、近隣の住民にも施設を開放している。

この仕事を辞めたいと思ったことはないですね。この施設はユニット型なので、一人のお年寄りのために介護、看護、いろんな人が「その人」を考えます。こういう仕事は他にないなど。以前は流れ作業型の仕事だったのですが、ここでは迷っても誰かが助けてくれます。

■忘れられないこと 頼まれたことを忘れていて「○○さん、ごめん。また明日ね」と言っていて、その夜亡くなられた方がおられました。「またね」はこの人たちにはないんです。この仕事をしていると、普通に生活して出かけた買い物したりできるって、すごいことなんだと感じられますね。

■今後の自分 笑うことで人の輪をつなぎたい。いつも発信していきたい。こんなことをやってみようよ。定年まで介護職でいたい。それで自分も上手に年老いたいですね(笑)。



すまいるウーマン 武藤麻由 さん

- 所属 特別養護老人ホーム くじらなみ 介護職
- 経歴 1980年3月柏崎市生まれ 八海高校家庭福祉科卒 介護福祉士 高校卒業後、別施設を経て2008年施設開設時に入社。家庭ではご主人と子供二人の母。
- 趣味 読書全般



3
ウォーターベッド型リラクゼーション器械。水面に浮かんでいるような心地よさでマッサージを。



特別養護老人ホーム くじらなみ

- 運営 社会福祉法人 澁山会
- 特別養護老人ホーム 80名
- ショートステイ 20名
- 新潟県柏崎市鯨波2丁目4番3号
- TEL0257-32-1120

「またね」は彼女たちにはないんです。

■就職の理由 小学生の時、NHKの「明日の福祉」という番組を見たのがきっかけです。施設で働く介護士さんの紹介だったので、介護は家でやるものと思っていたので、衝撃でした。その頃は、なんという仕事かもわからなかったのですが、中学で福祉・介護と知りました。八海高校家庭福祉科の一期生なんです。高校は全寮制で寮生は同じ目的、勉強も生活も一緒。たいへんでしたが、いい経験でした。

■仕事のポイント 初めての実習先で重度の認知症の方がおられました。職員の方は笑顔で対応してるんですが、「私にできるのかなあ」と不安ばかり。その方から「よく見れば楽しいんだよ」と言われて、その時はよくわからなかったのですが、「あー、そうだな」と思うようになりました。

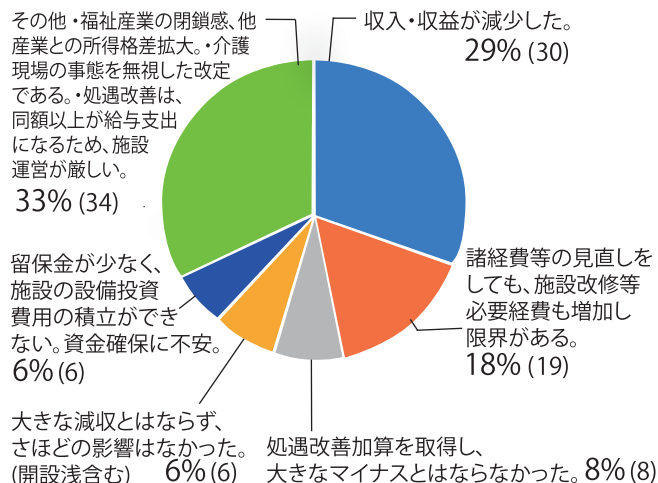
経営実態調査について

本会総務委員会では今年度もアンケートを実施し、会員事業所の経営実態調査を行いました。今年度は「介護報酬改定2か年を経て」として、特養を対象に95事業所から「平成29年度と28年度の損益比較」及び「減額改定下の対応や人材不足への対応等5項目の文書回答」を頂きました。誌面の関係で広報誌には、損益状況比較表と文書回答2項目のみの掲載となりますが、継続して変化を見、対応を探ることが目的でもありますので、今後とも皆様のご支援をお願い致します。

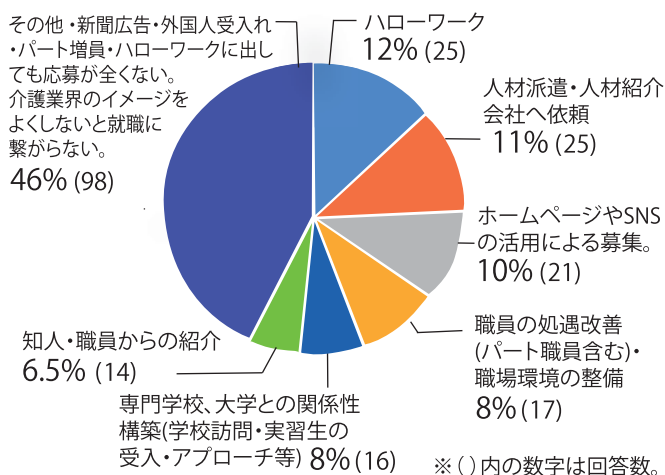
特別養護老人ホーム 損益状況比較表（全95先平均）

施設名	特別養護老人ホーム		
年度	H28. 3. 31現在	H29. 3. 31現在	増減
入所定員数（単位：人）	76. 65	77. 15	0. 51
短期入所定員数（単位：人）	15. 78	15. 33	-0. 46
定員数 計（単位：人）	90. 28	90. 13	-0. 14
平均要介護度	4. 00	4. 03	0. 03
平均入所稼働率（％）	95. 50	95. 60	0. 10
平均短期稼働率（％）	74. 59	72. 24	-2. 34
サービス活動収益計・千円	363, 407	370, 361	6, 954
サービス活動費用計・千円	351, 491	361, 361	9, 870
サービス活動増減差額・千円	11, 916	9, 000	-2, 916
貸付金利息・補助金収益・千円	836	654	-181
受取利息・配当金収益・千円	85	69	-15
その他のサービス活動外収益・千円	1, 222	1, 058	-164
サービス活動外収益計・千円	1, 885	1, 576	-309
支払利息・千円	2, 734	2, 487	-247
その他のサービス活動外費用・千円	307	355	47
サービス活動外費用計・千円	2, 705	2, 546	-159
サービス活動外増減差額・千円	307	-970	-1, 277
経常増減差額・千円	11, 097	8, 031	-3, 066

1. 減額改定ではどのような影響がありましたか？（複数回答あり）



2. 人材不足対応は、どの様にされておられますか？どの様にされていく方針ですか？



※（ ）内の数字は回答数。

平成30年度の介護報酬改定に向けた「介護の現場を守るための署名」大いに集まる！

平成30年度の介護報酬は会員の皆様からのご支援をもちまして、社会保障費削減の大逆風を押し戻し6年ぶりのプラス改訂「+0.54%」が実現できる見込みとなりました。本会が継続して行っている経営実態調査においても収益性が一段と厳しくなっている現状が分かり、これ以上の介護報酬の削減は容認できないところへ来ています。昨年11月に本会に寄せられた「介護の現場を守るための署名」は12千件近くとなり、全国老協に集められた署名数の3.62%に及び、プラス改定への力強い声となっております。

平成30年度新潟県福祉団体共同要望

昨年12月21日県内の福祉関係11団体が米山知事と面談し、県の2018年度予算編成に向けて要望を行いました。本会は人材の確保の観点から「定着促進のため多職種協働職への処遇支援として、介護職員以外の職員に対しても収入の増額要請」を致しました。これは介護施設が多く専門性を有する職種によって運営されている実態に合わせ、多職種協働チームの更なる質の向上と定着促進のための処遇改善を願って要望したものです。



平成29年度・第2回管理者研修会



金沢俊弘 氏

昨年11月30日に燕三条メッセピアにて全国老協の金沢常務理事（前公益法人協会事務局長）をお迎えし「法人運営の基本」をテーマとする管理者研修会が50余名の参加者で開催されました。講演項目は「理事会のあり方」「内部統制体制」「全国老協の公益認定等委員会への最終報告説明」と多岐に亘り、特に組織運営の根幹をなす内部統制の「ガバナンス、コンプライアンス、ディスクロージャー」については掘り下げた解説と活発な意見交換が行われ、出席者の皆さんから再度の研修要請が多く寄せられました。

平成30年度 大会・研修予定

研 修 名	日 程	会 場
Web 自立支援介護研修会 (一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会共催)	4月～ 毎月第4火曜 全12回	—
新潟県介護力向上講習会	5月～平成31年3月 全6回	燕三条地場産センター
認知症介護実践者研修	12月～平成31年2月	新潟ユニゾンプラザ
企画研修 第1回	5月22日(火)	新潟ユニゾンプラザ
企画研修 第2回	7月5日(木)・6日(金)	燕三条地場産センター
企画研修 第3回	7月20日(金)	新潟ユニゾンプラザ
第23回新潟県研究大会	9月26日(水)～27日(木)	ナスパニューオータニ湯沢
企画研修 第4回	11月14日(水)	燕三条地場産センター
企画研修 第5回	平成31年1月25日(金)	新潟ユニゾンプラザ

※ 変更になる場合がございます。正式なご案内は改めてお知らせいたします。

各ブロック部会の活動紹介

平成 29 年 7 月 21 日

第1ブロック部会 第1回研修会

21 世紀委員主催で新潟ユニゾンプラザにて、株式会社マナーズの山田節子先生を講師に迎え「ポジティブに切り替えるコミュニケーションスキルアップ」をテーマに開催しました。相手の存在や価値を認める働きかけで信頼関係を築いていく方法の講義、さらにコミュニケーションに活かすため「エゴグラムチェックリスト」を活用して自分の心の状態、行動パターンの把握を行いました。グループワークでは、会場内のあちこちで笑顔や楽しそうな声が聞かれ、研修名の通り、ポジティブに楽しく学ぶことができました。（担当：吉田浩司）



平成 29 年 11 月 24 日

第1ブロック部会 第2回研修会

「ご利用者を介護事故から守るリスクマネジメント」をテーマに月岡温泉を会場にして開催しました。講師に林正海先生を迎え介護現場で働くうえで事故が起きた際の法的責任について、また事故防止の前提は、チームの良好なコミュニケーションにある等を講義やグループワークを通して学びました。事故防止への取り組みの重要性について改めて考えさせられました。研修会の良い雰囲気そのままだ持ち込んだ懇親会では、普段の業務の話や何気ない会話で交流を図り、大いに盛り上がりを見せていました。そのような機会が定期的にあると日常の緊張感からの解放、ネットワークの構築など効果が大きいと感じました。（担当：吉田浩司）



平成 29 年 11 月 15 日

第2ブロック部会 第2回研修会

新潟ユニゾンプラザにて「事業展開に必要なマーケティングの発想とブランド構築」と題して、講師に事業創造大学院大学客員教授でブランディングアドバイザーの信田和宏氏をお迎えし、福祉の現場では聞き慣れないマーケティングやブランド化についてご講演をいただきました。これからの施設は地域ニーズを把握し、そのニーズに応じたサービスを提供していくことが大切であり、「施設の売り」を見つけることが重要など興味深い内容でした。（担当：梅澤 健）



信田和宏 氏



平成 29 年 8 月 24 日

第3ブロック部会 施設見学研修会

オムツ着用ゼロ達成した特別養護老人ホーム福住様で見学研修会を行いました。自立支援の実践報告を聞き、既に取り組んでいる施設、これから取り組もうとしている施設で支援の進め方に対する活発な意見交換がありました。（担当：中澤葉子）



平成 29 年 11 月 17 日

第3ブロック部会 講演会

燕三条地場産業振興センターリサーチコアで講演会を行いました。講師に本会の高橋是司会長を迎え、「これからの福祉サービス経営～ソーシャルワークの視点から～」と題し、福祉サービス経営に必要な法人の経営理念や人材育成についてのお話がありました。介護報酬の改定を前に、各法人がこれから取り組むべきことを確認することができ、モチベーションアップに繋がる講演会となりました。（担当：中澤葉子）



平成 29 年 10 月 6 日

第4ブロック部会 第2回研修会

クロステン十日町にて、日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーター山岸智子氏を講師に迎え「アンガーマネジメント～怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング～」と題し、グループワークを中心とした研修会を開催しました。怒りの感情の発生について、またそのコントロール方法について、参加された多職種の方からとても参考になったと多くの感想をいただきました。（担当：佐野須奈子）



平成 29 年 10 月 24 日

第5ブロック部会 第2回研修会

21世紀委員の企画により、看取りケアをテーマにした研修をおこないました。当日は介護職員のみならず、看護・相談職をはじめ管理者を含め73名が参加し充実したものとなりました。講義の2本立てでしたが後半では、ご遺体の処置についてとして『おくりびと®のお葬式』の納棺士による実演を見学しました。今後のご利用者の支援に活かされると幸いです。（担当：金子美朗）



平成 29 年 11 月 27 日

第5ブロック部会 第3回研修会

ホテルハイマート（直江津駅前）を会場に、全国老人福祉施設協議会事務局長 天野尊明様を講師に迎え、「現場の声が制度を作る～次期介護報酬改定等の動向と全国老協の取組について」と題して、研修会を開催いたしました。出席者からは、「タイムリーな内容である。」「分かり易い説明であった。」「中央の生の声を直接聞ける良い機会となった。」などの声が聞かれました。（担当：矢嶋文博）



「ONの私」 「OFFの私」



第2ブロック
特別養護老人ホームやはたの里
介護係長
本間美貴さん

十年ほど前から施設の仲間と地元のトライアスロンやマラソン大会に参加しています。仕事が休みの日等を利用してジョギングや水泳等を行っています。仕事に疲れ練習も嫌になる時もありますが、ゴールした時の喜びはなかなか他では味わうことができません。努力した分、結果がついてくるのも嬉しいものです。大会が終わった後みんなで行く打ち上げも楽しみにしている一つです。職場で趣味を通じて、年齢・性別・職種に関係なくコミュニケーションがとれることも楽しく、これからも体力が続く限り頑張っていこうと思います。



第4ブロック
特別養護老人ホームうおの園
生活相談介護主任
樋口泰範さん

ショートステイの生活相談介護主任をしている樋口泰範さん。“料理が好き”と言う訳ではないようですが、休日は樋口さんが料理当番となり、献立に頭を悩ませているそうです。この日は、家族のリクエストで『餃子パーティー』を開催されたとの事。餃子を作りながら飲むビールが格別に美味しくにんまり(笑)しています。家族の喜ぶ顔を思い浮かべ、ビール片手に楽しんでいるとの事。また、暖かくなったら外へ出て『もつ焼きパーティー』も開催するそうです。

（紹介者：田邊奈緒美）



笑顔で行動

特別養護老人ホームはもちの里 園長

金子陽子さん

●施設長リレーコラム●



日本海にぽっかり浮かぶ、佐渡。

佐渡と言えば佐渡金山、佐渡おけさ、そして、おいしいお米・お酒、新鮮なお魚、果物も有名です。私たちの施設『はもちの里』は、温暖な南佐渡に位置しおけさ柿の有名な産地としても知られています。気候も温暖ですが、地域の皆さまも温かく、穏やかです。

平成4年に南佐渡では初めての、特別養護老人ホームとしてスタートし、現在は短期入所、通所介護、訪問介護、居宅介護を運営しています。施設の周りには、病院、消防署、南佐渡中学校、羽茂高等学校など、多くの施設があります。6月15日の羽茂祭りには、踊りや鼓笛隊など、小学生や中学生の訪問があり、ご利用者の笑顔の花が広がります。

法人の経営理念として、顧客満足、人材育成、組織強化を掲げています。今、平成30年度の事業計画に取り組んでいます。『ご利用者の思い』と『地域の信頼』を目標に、各部署で話し合いを続け、計画を作成しました。ご利用者の

思いを受けとめ援助する、地域から信頼される職員を育てるため施設職員として必要な研修を行う、地域の皆さまとの交流を深める『夏祭り』、秋の『いこいの日』の開催など・・・。

施設には地域の方々から、大勢来ていただいています。夏祭りのアトラクションとして、全国高校総合文化祭郷土芸能部門で最優秀賞に輝いた羽茂高校郷土芸能部の皆さまに佐渡民謡を披露していただき、ご利用者や地域の皆さまの拍手喝采を受けています。

そして、ぜひとも紹介したいのが、職員の子どもさんが生みの親、『はもちの里戦隊 コシオレンジャー』です。最初は「ピンク、黄、オレンジ」の3人から昨年「赤、青」の5人になり、施設の行事では大活躍をしています。『腰は曲がっても正義の心は曲げない!』この言葉を胸に、ご利用者、職員の笑顔が絶えない施設を目指しています。ぜひ、皆さま、佐渡へお越しください。



はもちの里戦隊 コシオレンジャー参上!



夏祭り!新潟県立羽茂高等学校 郷土芸能部の皆さん



パン屋さん 開店準備中!



職員チームで毎年参加しています!

事業所所在地	新潟県佐渡市羽茂本郷25
運営事業者	社会福祉法人小佐渡福祉会
事業所の種類	特別養護老人ホーム
定員	80名
連絡先等	

TEL 0259-88-3811
FAX 0259-88-3814

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F
電話 025-281-5534 発行人 高橋是司
にいがたろうしきょう NEWS 平成30年3月20日発行